

報告事項 イ

令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について

令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について、別紙のとおり報告します。

令和8年5月15日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について

令和8年5月15日

小中学校課

<p>○令和8年4月23日（木）に、小学校6年生と中学校3年生を対象とした「令和8年度全国学力・学習状況調査」（国語、算数・数学）が実施され、県内公立学校176校（小学校116校、中学校60校）の約9,000人の児童生徒が参加しましたので報告します。</p> <p>○令和8年度調査では、「中学校英語」及び「児童生徒質問調査」において、1人1台端末等を活用してオンラインで調査をする「CBT方式（※1）」を導入し、ネットワーク環境を考慮して、4月20日から日程を分散して実施されています。</p> <p>➢ 今回の実施（国語・算数・数学）に関するトラブルについて、市町村教育委員会等から特に報告なし。</p> <p>➢ 令和9年度から、全ての教科に関する調査及び質問調査がCBT方式に移行し、「教科に関する調査」では、IRT（※2）が導入される予定。</p> <p>○国の結果公表は7月中旬以降に予定されており、昨年度と同様に3段階に分けて公表されます。県としては、国の調査結果を踏まえ、県全体の結果を公表する予定です。ただし、市町村ごとや学校ごとの結果は公表しません。</p> <p>※1 CBT（Computer Based Testing）：コンピュータ使用型調査</p> <p>※2 IRT（Item Response Theory）：項目反応理論。問題の特性（難易度や識別力等）と各児童生徒の学力を分けて考える枠組みであり、いくつかの手続きを経ることで、異なる時点、問題セット、児童生徒集団等で実施した場合であっても、その結果を相互に比較できるようになる。</p>

1 実施日、学年、教科・内容について

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）及び児童生徒質問調査

・教科に関する調査（国語、算数・数学）	令和8年4月23日（木）
・教科に関する調査（中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）及び生徒質問調査	令和8年4月20日（月）～4月23日（木）
・児童質問調査	令和8年4月24日（金）～5月8日（金）
・教科に関する調査（中学校英語「話すこと」） 【当日実施校】	令和8年4月24日（金）、27日（月）
・教科に関する調査（中学校英語「話すこと」） 【期間内実施校】	令和8年4月28日（火）～5月29日（金）

※今年度は、経年変化分析調査及び保護者に対する調査は実施しない。

※中学校英語の「話すこと」については、文部科学省が指定する中学校（500校程度）の「当日実施校」と、当日実施校以外の中学校「期間内実施校」に分かれる。

- ・調査対象 小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒）

※義務教育学校及び特別支援学校を含む。

- ・調査事項 ①児童生徒に対する調査

教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

- ②学校質問調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

2 調査参加校数、人数について

【学校数・児童生徒数】※公立学校のみ

	調査対象校	4月23日 実施校 (国語・算数・数学)	後日 実施校 (国語・算数・数学)	児童生徒数
小学校 調査	116校 義務教育学校前期課程6校を含む。	116校	0校	約4,500人
中学校 調査	60校 分校2校を含む。 義務教育学校後期課程6校を含む。 特別支援学校中学部2校を含む。	60校	0校	約4,500人
合計	176校	176校	0校	約9,000人

3 結果公表に関する今後のスケジュール（予定）

期 日	内 容
7月中旬	文部科学省からの結果公表① ・正答率・IRTバンド分布などの全国平均 ※IRTバンド…IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもの
7月下旬	文部科学省による教育委員会向け結果帳票の提供 文部科学省からの結果公表② ・全国データに基づく分析結果
8月	鳥取県教育委員会による鳥取県の調査結果の公表・調査結果の分析
秋頃目途	文部科学省からの結果公表③ ・都道府県別データに基づく分析結果
12月	調査の分析結果等について「とっとり夢ひろば！」掲載

4 今後の主な取組について

- (1) 「到達度評価問題」等のC B T方式による実施
県教育委員会が作成する「到達度評価問題」等を、C B T方式により定期配信し、各学校で基礎学力の定着に向けた取組を実施する。
- (2) 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト（小学校国語、算数）
小学校国語・算数のモデル校を指定し、教員の指導力向上と小学校における授業改善に向けた取組を支援する。
- (3) 中学校数学パワーアッププロジェクト
中学校数学の拠点校を指定し、各圏域の授業改善を推進する拠点として重点支援する。
中学校教育研究団体の数学部会と連携し、県内の数学担当教員全体の指導力向上を図る。
- (4) 中学校数学訪問の実施
県内全ての公立中学校・義務教育学校（後期課程）を対象に数学訪問を実施し、県指導主事等が継続的に学校を訪問し、指導助言等を行う。
- (5) 学力向上研修（小学校国語、算数、中学校国語、数学）
全国学力・学習状況調査等の問題を活用した各教科の授業づくり研修会を開催し、教員の指導力向上を図る。

5 調査結果の公表について

県教育委員会は県民に対する説明責任を果たす観点から、以下の項目について調査結果を公表する。その際、調査により把握できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどについて十分留意するものとする。

【公表する項目】

- ・調査の概要：調査の目的、実施期日、参加学校数、参加人数、調査項目
- ・調査結果：県平均正答率、質問調査の結果